監視室に関する研究（その1）
— 監視室色彩調査 —
A study on control room

山岡俊樹 石黒康遠
YAMAGA TOSHIKI ISHIBASHI YASUMICHI
東芝・デザイン部
藤井照
FUJII KIYOSHI

1. 目的
監視室を模倣する色彩配置は、監視員と人間の心理的な影響の大きさから、重要なエレメントを占めている。そのため、様々な条件のもとで測定してはならない。今回の研究は、監視室の色彩配置（大きいので壁面と絵本の効果）と床色との最適な関係を調査するものである。ウィン・日本電機工業の旧JEM色（7.5BG6/1.5）と新JEM色（5Y7/1）を使った監視室の床色の関係を中心に調査した。

2. 方法
断面図を2種の形状でレイアウトした監視室（約15m～約25m）の1/15スケールモデルを作り、カラーシミュレータに観察をさせた監視室（高さが高いので壁面、ほとんど見えない）及び systurbを変化させたスライドを作成した。調査に用いたサンプルは、下記の6種類である。

<table>
<thead>
<tr>
<th>色名</th>
<th>直感</th>
<th>頭感</th>
<th>中央義感</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1 N=9 S5Y8/1</td>
<td>S5Y7/1</td>
<td>S5Y7/1</td>
<td>8YR8/3</td>
</tr>
<tr>
<td>2 N=9 S5Y8/1</td>
<td>S5Y7/1</td>
<td>S5Y7/1</td>
<td>8YR8/3</td>
</tr>
<tr>
<td>3 N=9 S5Y8/1</td>
<td>S5Y7/1</td>
<td>S5Y7/1</td>
<td>8YR8/3</td>
</tr>
<tr>
<td>4 N=9 S5Y8/1</td>
<td>S5Y7/1</td>
<td>S5Y7/1</td>
<td>8YR8/3</td>
</tr>
<tr>
<td>5 N=9 S5Y8/1</td>
<td>S5Y7/1</td>
<td>S5Y7/1</td>
<td>8YR8/3</td>
</tr>
<tr>
<td>6 N=9 S5Y8/1</td>
<td>S5Y7/1</td>
<td>S5Y7/1</td>
<td>8YR8/3</td>
</tr>
</tbody>
</table>

上記6種類のスライドを刺激サンプルとして、被験者44名（監視員及びその関係者）に提示し、S・D法、一対比較法によって評価してもらった。同時に、監視室に必要な雰囲気質問を質問した。
S・D法では、監視室の色彩配置の傾向、色彩する必要がある尺度16選んで使用した。評価は5分法により行った。
S・D法イネメ研究の各サンプルの尺度値をもとに、因子分析（パリマックス法）を行い監視室の色彩イメージ構造の分析も行った。一対比較法に関しては、「緊張感のある」、「圧迫感のある」、「快適な」、「疲労感のある」の4つの尺度について、各サンプルに対して提示し、比較しももらった。6サンプルのすべての組合せをGやCを15通りしそれぞれのサンプルがどの尺度のイメージが強いか質問してもらった。

3. 結果・考察
監視室に必要な雰囲気として、1位に挙げられたのは「疲労が少ないと」の4.4%であった。「落ち着いたの2.8%」、「快適だの1.7%」がこれに次ぐ。「安定した」、「緊張感のある」はそれぞれ6.4%、2.1%をと少なく、「明るい」、「


注)
1. 天井照明は、暗緑色ルーバー使用
2. 8YR5/3は床面及び下部調色
3. 5Y7/1（新JEM色）、7.5BG6/1.5（旧JEM色）日本電機工業会色